

# あの請願はどうなったん？ 追跡調査

今回追跡するのは、平成18年中に議会で審査し、採択となった請願です。

あれから3年がたちますが、採択後の事業の進み具合はどうなっているのでしょうか。

議会では、採択した請願・陳情が実現するよう継続的に取り組み、議会だよりでその経過・結果を随時お知らせします。

## 飯塚・藤川地区の水路の 年間通水を求める請願

渇水期に水が流れず悪臭を放つ水路に、  
年間を通して通水を求めるもの

請願者：飯塚区長 福島伊佐夫  
藤川区長 畔見 宏

議会採択日：平成18年6月14日



水が流れず悪臭を放つ水路の汚泥除去  
を行う地区の方々（4月26日）

## 処理経過及び結果

### 秋の渇水期から、 年間通水が実現！

平成18年3月：町議会の採択を受け、前橋市に陳情。  
請願の採択を受けて、前橋市長に対し町長名で陳情を行いました。市からは、「19年度から始まる新農業水利システム保全対策事業に合わせて整備したい」との回答がありました。

平成21年3月：水路の確保と整備が完了。  
宮川用水管理組合から飯塚区に対して「飯塚地区の年間通水に対応する水路の確保ができた」との連絡がありました。飯塚区からの要望を受けて、町経済産業課が宮川用水管理組合に年間通水に対応する整備を要望し、その結果、通水管などが整備されました。

平成21年5月：通水試験を実施。  
飯塚区は、関係する自治会や用水管理者、機械化組合などの理解を得て、5月に通水試験を行いました。その結果、問題なく通水ができることを、関係者立ち会いのもと確認しました。  
正式な手続きを経て、秋の渇水期から通水する見通しとなっています。



前橋市東善の堰（写真左）で揚水し、通水管（写真右）を通して、年間通水される